

## No.3 1 3 2

### 百名山雄峰を二つ一辺に楽しむ 火打山・妙高山

実施日 2023年10月1日(日)～3日(火)

天候 曇り／曇りのち晴れ／晴れ

リーダー 宮崎 敏男

参加者 宮崎敏男、佐藤聡美 計2名

費用 交通費 計19,060円、宿泊費計20,000円 合計39,060円

タイム 10/1 妙高高原(10:10~20:00)

笹ヶ峯(10:45)笹ヶ峰(11:00)黒沢橋(12:08)富士見平(14:40)高谷池ヒュッテ(15:40) 泊

10/2 高谷池ヒュッテ(6:30)天狗の庭(07:00)ライチョウ平(8:40)火打山(08:26~9:15)ライチョウ平(9:45)天狗の庭(10:31)高谷池ヒュッテ(11:17~13:00 昼食)茶臼山～黒沢池ヒュッテ(14:00) 泊

10/3 黒沢池ヒュッテ(6:00)大倉乗越(6:30)長助池分岐(7:10)妙高山北峰(9:03)南峰(10:12)称名滝(13:52)燕温泉(14:45・温泉入浴16:20)関山駅着(16:51)関山駅発(17:15)妙高高原駅(17:24)長野駅着(18:56)長野駅発(19:07)東京駅(20:52)

【10/1】新幹線故障で長野駅で2時間近くの足止めも何とかクリア。笹ヶ峰登山口は予想外の好天気で明るいシラカバ林の木道からスタート。黒沢橋の袂で昼食後は登りも

急な十二曲り。

下山者と多くすれ違うが皆さん登山靴、パンツの裾、中にはお尻から腿まで泥んこだだらけ。イヤな予感「泥遊びでもしたの?」「どこがひどいの?」等と軽口すれば「全部だよ」「行けばわかるよ」と不機嫌…今日New登山靴の履きおろしの身としては心中穏やかならず…。

やがて富士見分岐。GOALは間近と思いきやゴロ石、根掛かり、そして難難敵泥んこ道が時間を喰う。

到達したヒュッテは高谷池、火打山を彩る紅葉の中で三角屋根がひときわ引き立っていた。



【10/2】明け方まで渋っていた霧雨も直止み高谷池の草紅葉、周囲の山々の紅葉が秋天の青空の一段と映える。火打山頂はまだ霧の中。到着までに晴れ上がれと念ずる。が、願いむなしく山頂は乳白色の夢幻世界。つぎつぎと到着する人と無念を分かち合った。しかし、頂上直下から眺める天狗の庭、高谷池と広がる高層湿原その背後



【10/3】

【10/3】



にそびえる妙高山のパノラマ景観は補って余りあるものだった。

午後は高谷池でゆっくりり昼食タイムを過ごした後三つ目の黒沢池湿原、ユニークなドーム型の黒沢池ヒュッテへと向かった。

【10/2】今回は笹ヶ峰から火打・妙高山を経て燕温泉へ向かう縦走コース。



最後まで興味は尽きない。急登の大倉乗越を一転ガレ場を急降下、斜面をトラバースして長助池分岐にたどり着く。

ここから妙高山北峰まで見た目にも実際に歩いても急な登りだ。



先に待っている山頂への期待が背中を押す。



妙高山北峰山頂は360度の絶景と秋の青空、高天すじ引く雲、感動・有頂天！最高峰の南峰は溶岩の急崖に囲まれ荒々しい。下山はこの溶岩崖に刻まれたジグザグ道から始まる。尋常でない溶岩回路、スパと切れそうな岩、岩に刻まれたステップと鎖の道。

標高差1600を余りの下山路は歩きガイがある。途中、光

善寺池、称明滝などの景観も楽しみ、到着した燕温泉は地味だが歴史ある名湯。白濁、湯の花の硫黄泉が気持ちいい。今回の山旅は良かった、疲れも癒された。

(記・写真・宮崎 敏男)

私の一言 佐藤 聡美

新幹線の遅れやドロドロ道のスタートでどうなる事かと思いました。

火打の頂上はいにくの霧の中でしたが天狗の庭や高谷池ヒュッテの景観は見る事が出来、妙高山の山頂では北に南に名だたる名山が雲海に一

望。今までにない眺め感動！辛い下山も温泉で一汗流し、紅葉の山を堪能した山行でした。



(記・写真：佐藤聡美)

